

人権資料・展示全国ネットワークニュース

発行元：人権資料・展示全国ネット事務局

担当者：福岡県人権啓発情報センター 末継 浩久

久留米市人権啓発センター 西 慶二郎

第26回 (2021年度) 総会開催のお知らせ

正式な開催案内文書は後日お送りしますが、総会日程とプログラムは次のとおりです。

● 日程

令和3年11月18日(木)・19日(金)

● プログラム

○ 1日目 11月18日(木)

13:00 受付(会場：水俣あらせ会館 熊本県水俣市栄町2丁目2-7)

13:30 総会開会

14:20 各団体からの近況報告(出席全団体)

15:15 基調講演「わたしと水俣病」坂本しのぶさん(患者) 谷由布さん(聞き手)

16:20 特別講演「ふるさとは誰のもの～里帰り展から学んだこと」藏座江美さん(キュレーター)

17:30 閉会、事務連絡

○ 2日目 11月19日(金)

9:00 フィールドワーク出発(水俣スーパーホテル前集合)
市内・水俣病関連地巡り

13:00 新水俣駅着、解散

13:30 2021年度第1回事務局会(もやい館会議室にて)

● 開催地事務局

水俣病歴史考証館

第25回（2020年度）総会報告

2020年11月19日（木）福岡県人権啓発情報センターにて総会を開催しました。

2019年度事業・決算報告、2020年度事業・予算報告などの議案審議、加盟団体からの報告と意見交流を行いました。

次回総会を水俣病歴史考証館（2021年11月頃予定）で開催が確認されました。

また、代表（退任：高橋 雅和（福山市人権平和資料館）、新任：田中 秀幸（久留米市人権啓発センター））と事務局担当館（退任：ホロコースト記念館、鳥取市人権情報センター、徳島県立博物館、徳島県立人権教育啓発推進センター、奈良県立同和問題関係史料センター、新任：水俣病歴史考証館、大分市人権啓発センター）の交代が確認されました。

記念講演として、BURAKU HERITAGEの内田龍史さん、上川多実さん、武田緑さんから「“My Story”s～部落につながる「私」たちから見える景色～」と題して講演いただき、その後、福岡県人権啓発情報センター特別展示室で展示解説をしていただき、意見交換を行いました。

翌日（20日）は、元全国部落史研究会事務局長 竹森 健二郎さんを講師に迎え、全九州水平社や部落解放に尽力した先達のゆかりの地などをめぐるフィールドワークを行いました。

事業報告

1 「人権資料・展示全国ネットワーク」ニュースの発行

(1) 第56号発行

(2) 第57号発行

2 「人権資料・展示全国ネットワーク」ホームページの運営・更新

（担当：柳原銀行記念資料館）

3 事務局会議

(1) 第1回事務局会議

（於：鳥取県立人権ひろば21）：2019年11月22日

(2) 第2回事務局会議

（於：福岡県人権啓発情報センター）：2020年8月21日

4 文化庁支援事業「令和元年度地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」による「人権ネットを活用した地域活性化事業実行委員会」への参加

(1) 学校教育と連携した人材育成活動

① ミュージアムパスポートの発行 2020年4月に配布

② 人権学習とワークショップの実施

(i) 〈御所市内中学校対象〉水平社博物館見学＋レザークラフト講座

ワークショップ実施日：2019年12月に4回、2月に1回

参加：5中学校1～3年生234名（生徒210名＋教員24名）

- (ii) 〈御所市内小学校対象〉水平社博物館見学＋ミニ桐下駄キーホルダー講座
ワークショップ実施日：2019年11月3回、12月に1回、2月に3回
参加：7小学校4～6年生181名（児童164名＋教員17名）

(2) 国際発信及び情報収集・国際交流のための各種事業の展開

- ① 国際大会（ICOM・FIHRM） 2019年会場 国立京都国際会館
② 資料多言語化事業

(i) 館内解説の多言語化（スペイン語、フランス語完了）

事業計画

- 1 「人権資料・展示全国ネットワーク」ニュースの発行
(1) 総会報告・各加盟団体の2021年度事業の紹介
- 2 ホームページの運営・更新（担当：柳原銀行記念資料館）
- 3 「人権資料・展示全国ネットワーク」のデータ保存について
- 4 文化庁支援事業「令和2年度地域の核となる

加盟館・施設からの報告

- 1 水平社博物館
 - ・2022年3月3日常設展示室
 - ・リニューアルオープン など
- 2 ホロコースト記念館
 - ・アンネ展示室・子どもの部屋リニューアル
 - ・「フランク家の食器」展示のお知らせ など

※事前に報告を希望された加盟館・施設の報告の後、本年度は情報交換会中止（COVID-19（新型コロナウイルス感染症）拡大防止）ため、参加いただいた加盟館・施設から一言ずつ状況報告をいただきました。

2020年度 人権資料・展示ネットワーク代表・事務局体制

代表：久留米市人権啓発センター 所長 田中 秀幸

事務局：福岡県 福岡県人権研究所
福岡県人権啓発情報センター
久留米市人権啓発センター
田川地区人権センター
熊本県 水俣病歴史考証館
大分県 大分市人権啓発センター
広島県 福山市人権平和資料館

フィールドワークの概要

元全国部落史研究会事務局長 竹森 健二郎さんを講師に迎え、「全九州水平社」ゆかりの地をたずねました。

まず、向かったのは、松本治一郎生家跡でした。

次に、全九州水平社創立大会が開かれた博多座跡、福岡聯隊事件で松本治一郎下獄の際に別れを惜しむ人びとが集まった亀山上皇像前、馬出人権のまちづくり館に保存されている「将棋倶楽部の奉納額」「松本治一郎のステッキ、足袋」を見学した。



不可侵不可被侵の碑

馬出人権のまちづくり館を出て、大光寺にある福岡連帯事件の犠牲者、藤岡正右衛門と、徳川家達公爵暗殺未遂事件の犠牲者、松本源太郎の墓をたずねました。また、境内には松本治一郎の座右の銘「不可侵不可被侵」を刻んだ碑もありました。

翁別神社を見学した後、最後におとずれたのは、寛政五人衆合葬の碑。200年以上の続いたこの村の伝承にふれることにより、村の人たちの権力に対する憤りと村を救うために死んでいった若者たちの優しさにふれることができました。

天候に恵まれた、有意義なフィールドワークでした。

事務局からのお知らせ

- 「人権ネットニュース59号」の原稿を募集します。59号は上記総会にて配布します。各館のPRやメッセージなど内容はご自由に、400字程度でお願いします。
 - ・ 提出締め切り・・・8月16日（月）
 - ・ 提出媒体・・・メールでお願いします。（リターンメールでは、全ての資料館にメールが配信されるので、リターンメールでなく下記のメールでお願いします。）
 - ・ 提出アドレス・・・jinken@city.kurume.fukuoka.jp（久留米市人権啓発センター）

連絡先:久留米市人権啓発センター

〒830-0037 福岡県久留米市諏訪野町 1830-6 え〜るピア久留米 1階

TEL:0942-30-7500 / FAX:0942-30-7501